

令和5年度  
市民活動団体の現状に関する  
アンケート調査報告書

2024年3月15日

**ひらつか市民活動センター**

(管理運営団体：NPO 法人湘南 NPO サポートセンター)

〒254-0045 平塚市見附町 1-8

TEL 0463-31-7571 FAX 0463-35-6601

Eメール info@hiratsuka-shimin.net

URL <http://hiratsuka-shimin.net>

時折春の温かさを感じるものの、まだ冬の寒い時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ひらつか市民活動センターでは、2019年度より団体の活動に関するアンケートを実施させていただいておりますが、その間コロナ禍で活動が制限される時期が長くなりました。

昨年、漸く第5類感染症に移行になったことで、団体の活動にも平時が戻ってきていることを、当センターの利用状況からも伺えます。

さて、昨年末にアンケートを実施させていただいた際、安心安全な住みよいまちづくりを進める上で、防災意識を高め団体間の連携を推進したいと考え、新しい設問として「災害発生時」についての項目を加えました。

奇しくも、元旦早々能登半島で大地震が発生し多大なる被害が発生してしまいました。ここに改めて被災者の皆様及び関係者の皆様にお見舞いを申し上げます。

今回実施させていただいたアンケートは、その結果を皆様と共有し、当センターでの事業運営等に反映させていただきます。尚、ひらつかの風37号に同封するものはダイジェスト版となっております。より詳細な調査結果については、当センターのwebサイトにて公開しますので、そちらをご覧ください。ご協力をありがとうございました。

調査期間：2023年11月15日(水)～12月22日(金)

調査方法：該当項目をチェック（設問数22 自由意見2 合計24）

依頼先：当センターに登録している市民活動団体及び市内NPO 法人

設問内容：①団体名称 ②法人格 ③回答者の役職 ④活動分野 ⑤会員数 ⑥平均年齢  
⑦活動頻度 ⑧財政規模 ⑨主な収入源 ⑩主な支出 ⑪情報発信ツール  
⑫現在抱えている課題  
⑬地震等の災害に直面した場合の対策  
⑭災害発生時の団体としてどんなことができるか  
⑮ボランティアセンターが立ち上がることを知っているか  
⑯ボランティアセンターが立ち上がった場合の団体としての協力  
⑰団体間の連携・協力  
⑱センターで実施する防災関係の情報交換会  
⑲乗り越えられない困難や課題 ⑳今後の活動に必要と思われるもの  
㉑必要と思われる支援策 ㉒センターに特に力を入れてほしいもの  
㉓㉔市民活動支援に関する意見・提案  
\*⑬～⑱は新規設問 ㉓・㉔は記述式

添付内容：①単純集計

②個別意見

現在、当センターに登録されている市民活動団体は317団体、その内NPO法人が52団体、公益社団/財団法人は8団体、一般社団法人1団体、任意団体は256団体の構成となっています(2024年2月現在)。

活動分野別の内訳をみると、「保健・医療・福祉」の分野が最も多く、NPO法人24団体46.2% (全体92団体・29.0%)、次いで、「子どもの健全育成」がNPO法人7団体13.5% (全体44団体・13.9%)、「まちづくりの推進」がNPO法人6団体11.5% (全体36団体・11.4%)の構成となっています。

NPO法人の収入規模は、100万円以下が34.5%、1,000万円以上は26.9%に留まっており財政基盤は決して強いものではないと思われます。それを裏付ける事項は、現在の課題として「活動資金の不足」が最も多くなっています。他の課題としては「人材不足」「後継者」ですが、コロナ禍の影響でしょうか「情報発信力」の強化が徐々に増加してきています。

行政課題の多様化・複雑化に伴い、情報収集や情報発信機能が今後重要性を増していくことでしょう。そのような社会課題に連携して取り組む意識の向上と、それに伴う様々な主体によるネットワークづくりをするための人材の育成、情報発信力を高めるための支援や仕組みづくりをすると同時に、団体の継続的な活動に向けて経営基盤を強化していくための環境整備も必要になるでしょう。

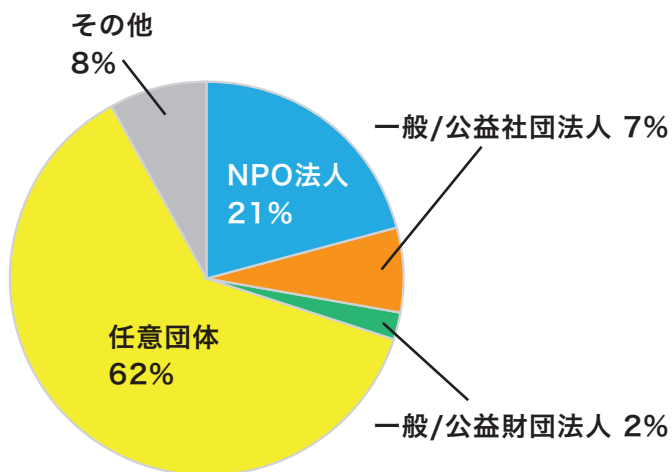
当センターとしては、多様なニーズに対応するため機能強化を図ると共に行政との協働の窓口になり、地域で気軽に利用できる場所として、地域に密着した市民活動団体の拠点となるよう今後も取り組んでまいります。

## アンケート結果

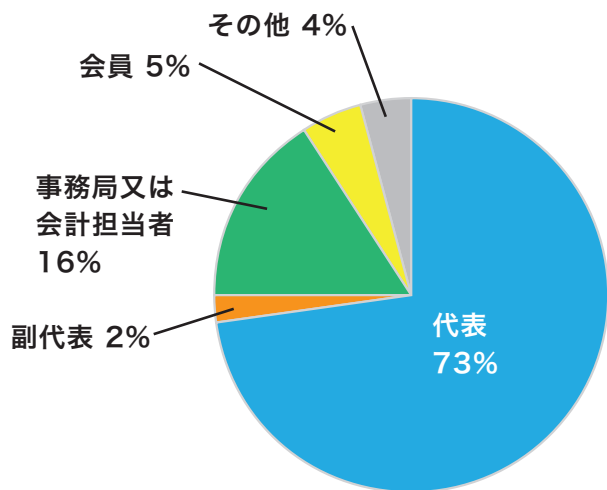
### 1. 回答状況

配布数	回収数	回収率
364	132	36.3%

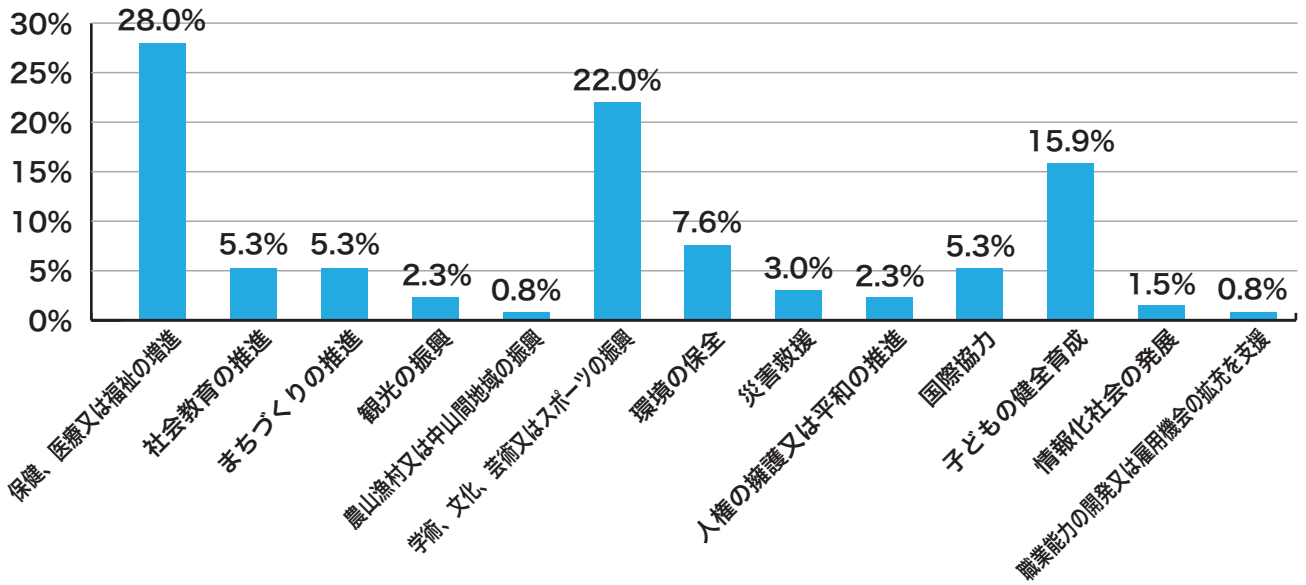
### 2. 法人格



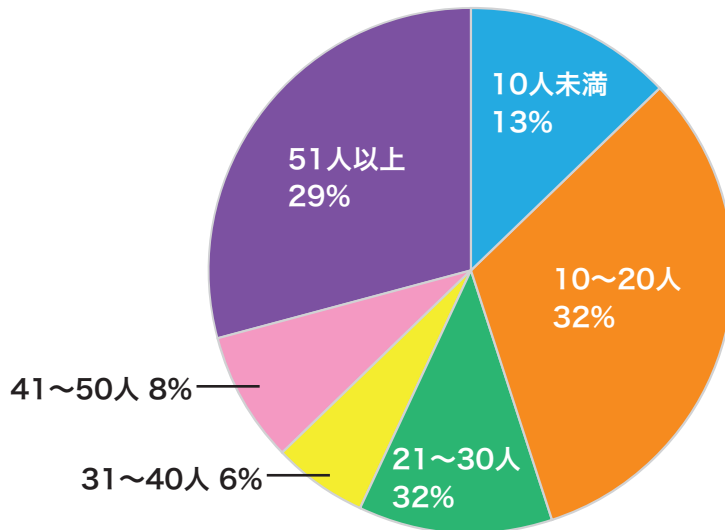
### 3. 回答者の役職



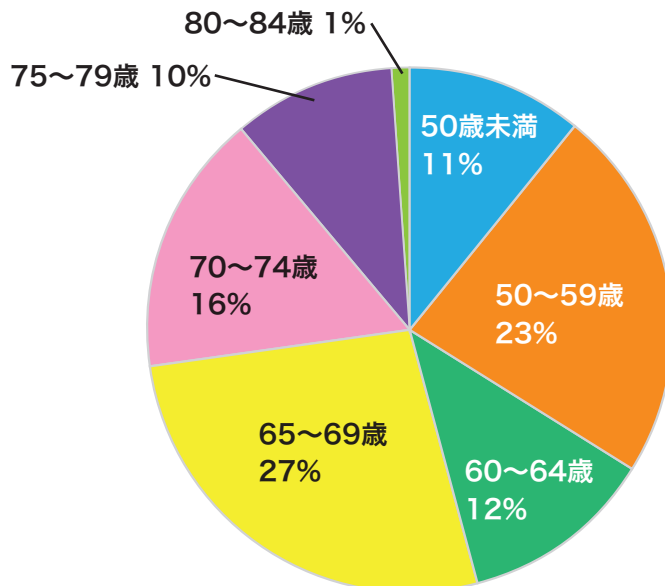
#### 4. 活動分野



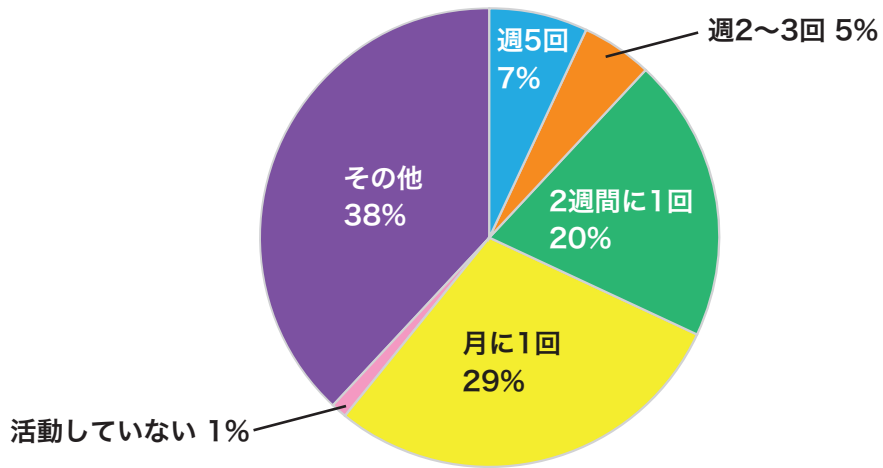
#### 5. 会員数



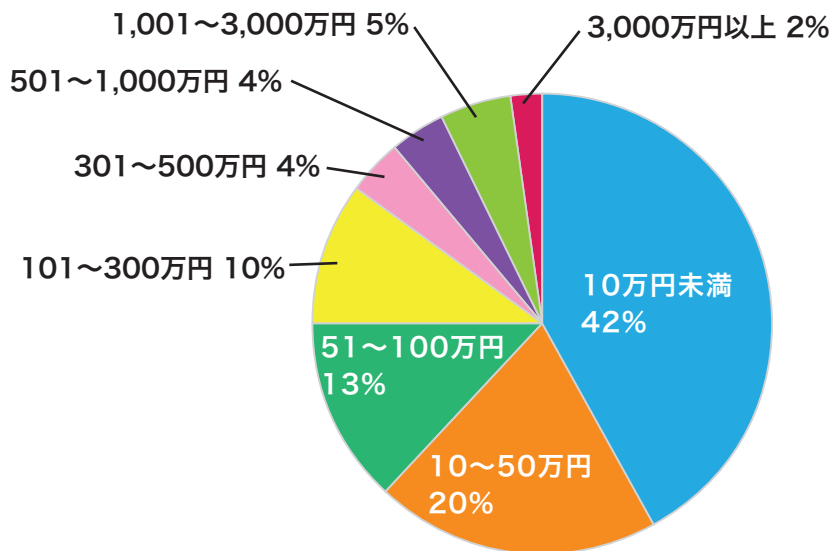
#### 6. 平均年齢



## 7. 活動頻度

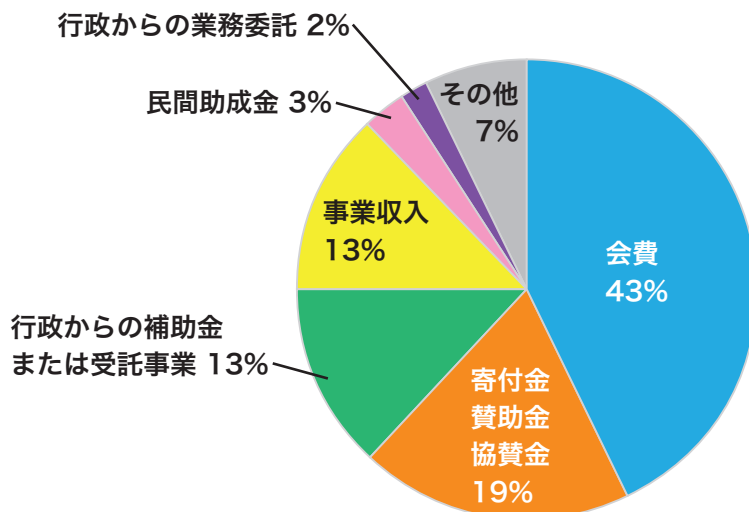


## 8. 財政規模



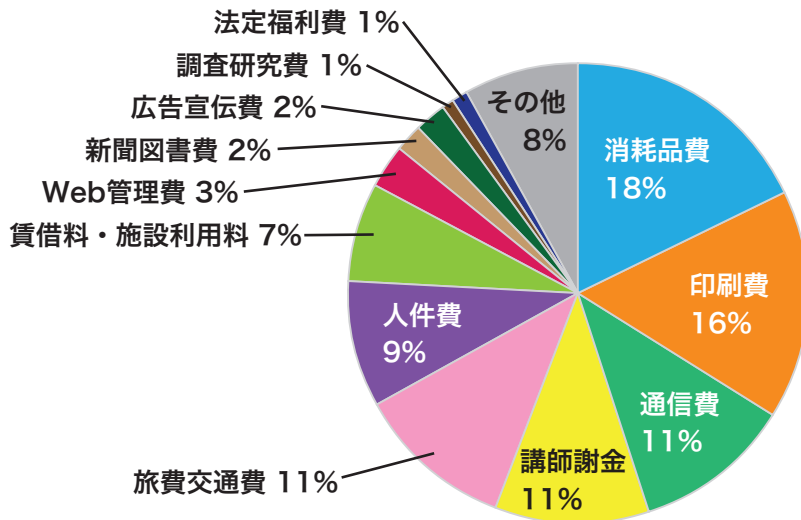
全体で42.0%が10万円未満ですが、  
NPO法人は10万円未満及び1,000万円以上共に19.2%となっています。

## 9. 主な収入源



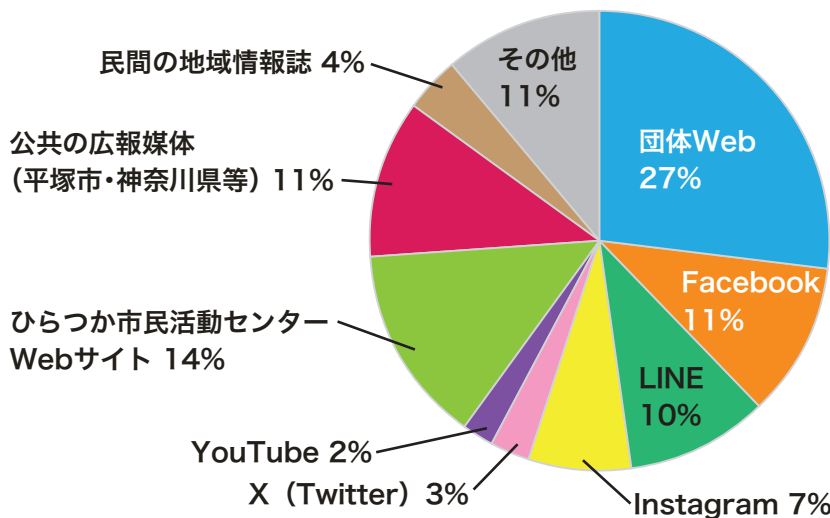
会費、寄附金等で61.0%事業収入を加えると全体の74.5%を占めています。

## 10. 主な支出



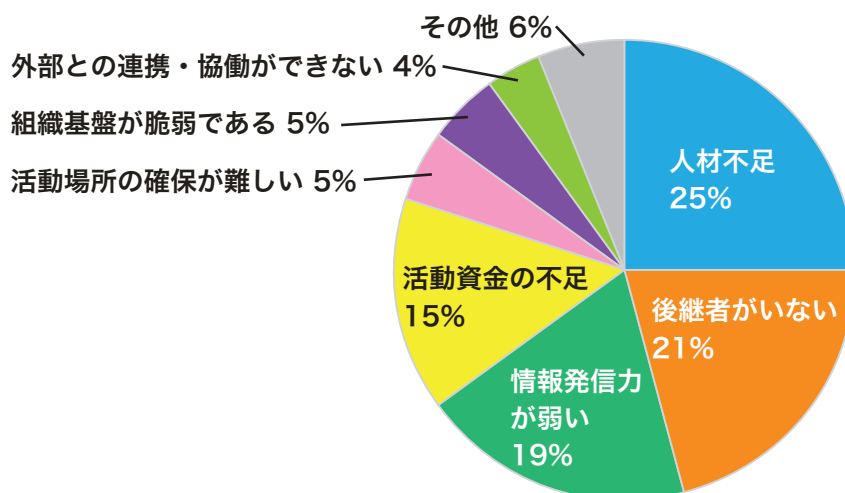
消耗品費（17.8%）、印刷費（16.5%）、通信費（11.4%）で全体の約半数を占めています（45.7%）。

## 11. 情報発信ツール



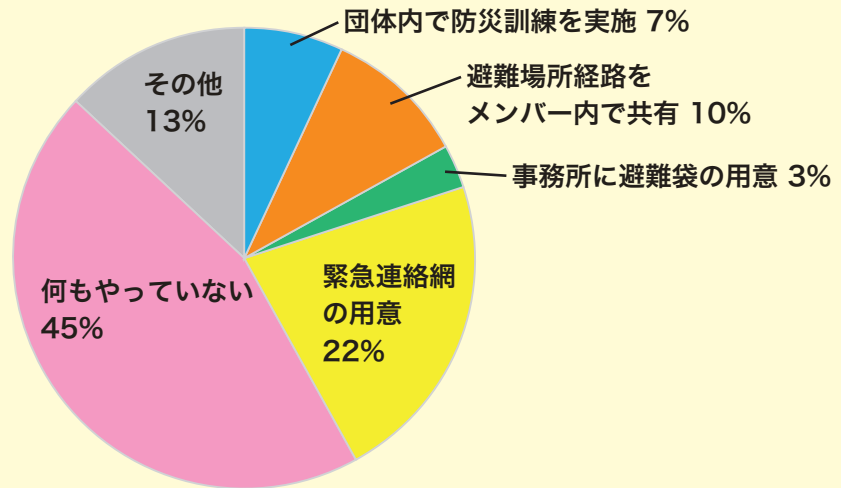
団体Web活用が一番多い（27.7%）ですが、Facebook、LINE等SNSの利用が最近増加している傾向にあります（33.5%）。

## 12. 現在抱えている課題



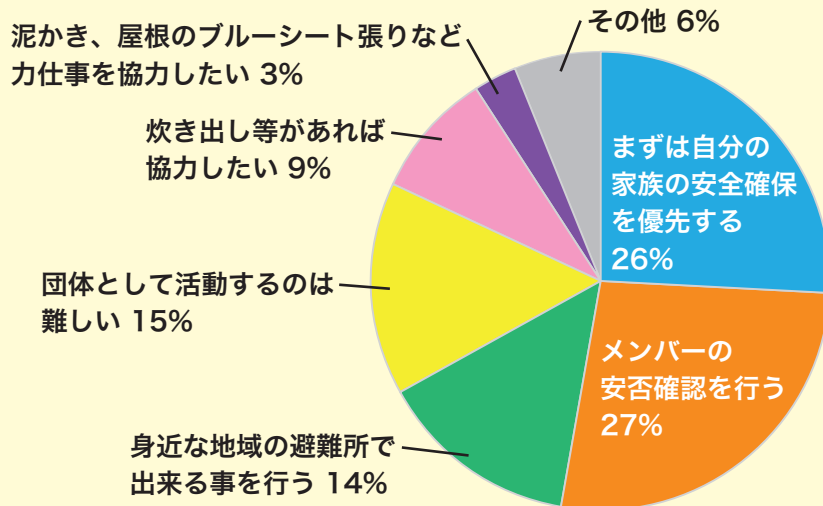
人材不足（25.7%）後継者問題（20.8%）、情報発信力（18.5%）で全体の65.0%を占めており、継続的な課題となっています。

### 13. 地震等の災害に直面した場合の対策



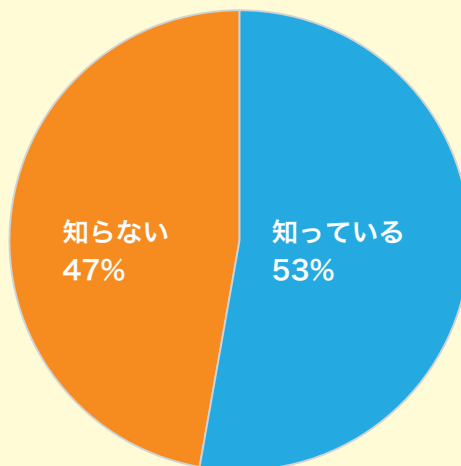
特に何もやっていないが45.9%と最も多く、次いで緊急連絡網の整備が21.7%となっています。

### 14. 災害発生時の団体としてどんなことができるか

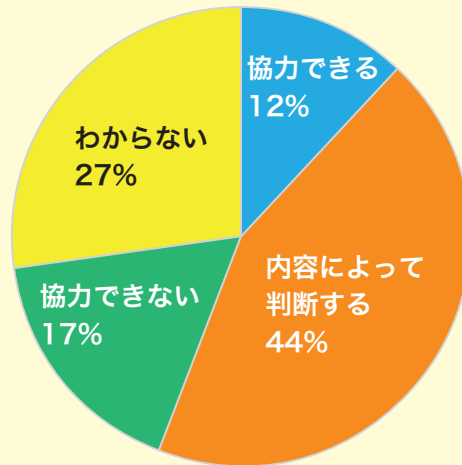


自分・家族の安全確保とメンバーの安否確認が共に26.4%と全体の半数を占めています。

### 15. ボランティアセンターが立ち上がることを知っているか

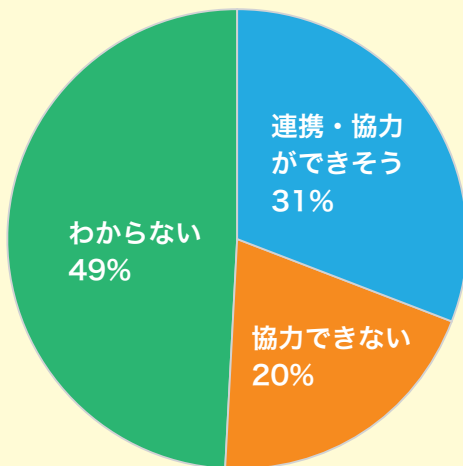


## 16. ボランティアセンターが立ち上がった場合の団体としての協力



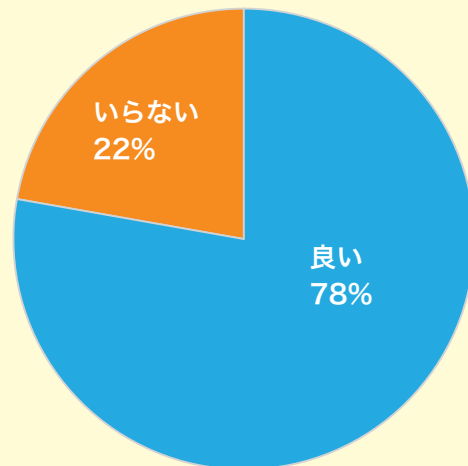
協力出来る（12.2%）、内容によって判断する（42.7%）と全体の54.9%となっており前向きに考えておられることが伺えます。

## 17. 平時からの団体間の連携・協力

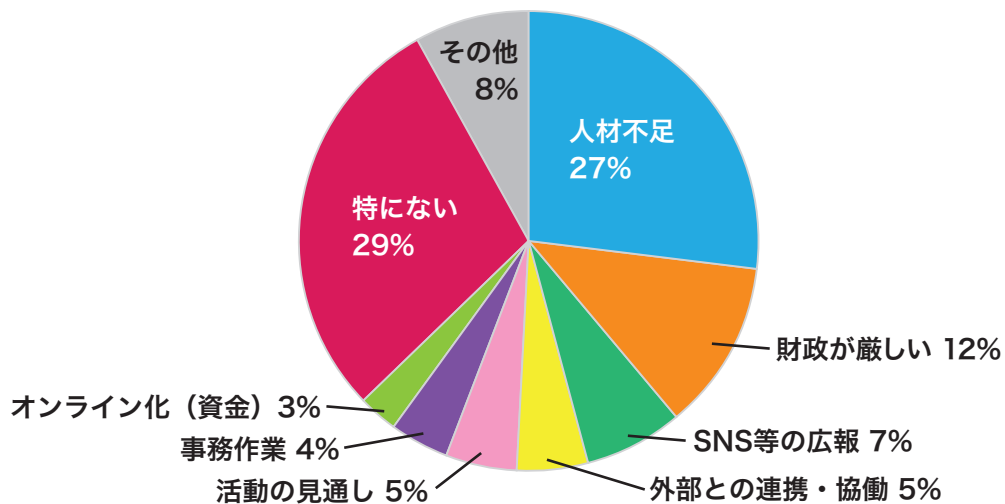


連携・協力ができそう（31.1%）であり、41団体に上っています。

## 18. センターで実施する防災関係の情報交換会



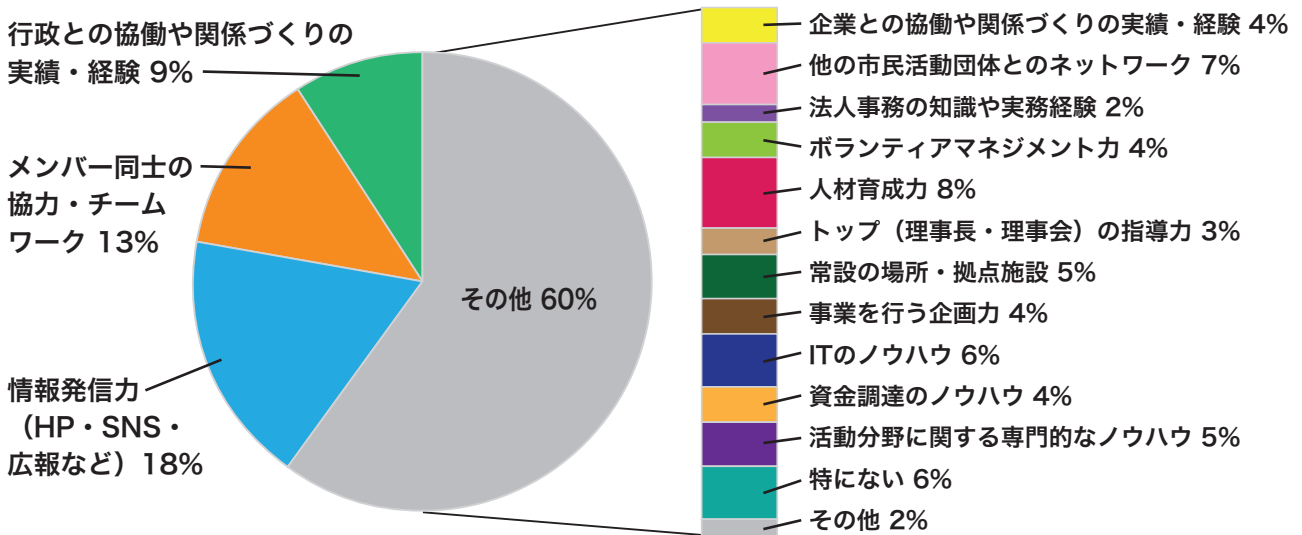
## 19. 乗り越えられない困難や課題



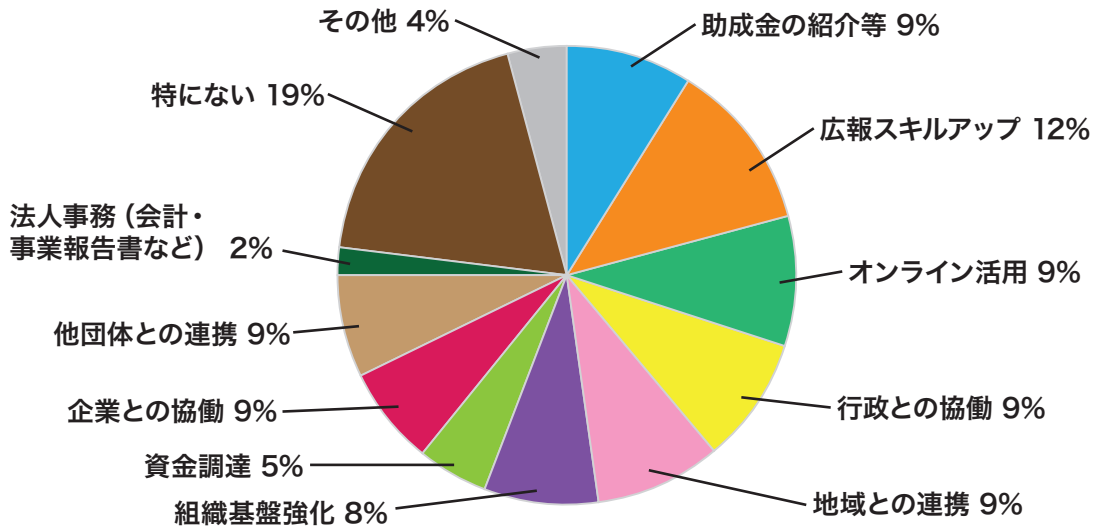
人材不足が最も多く（26.0%）、財政が厳しい（11.9%）であり、現在の課題とも共通する部分が多い傾向です。



## 20. 今後の活動に必要なと思われるもの

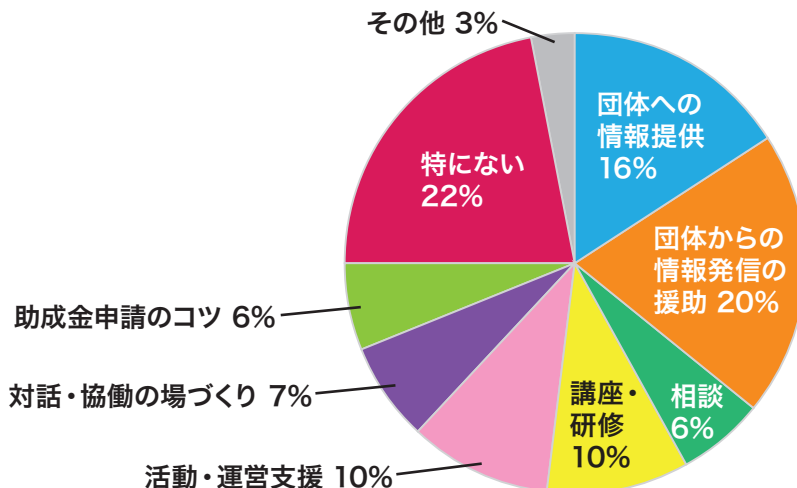


## 21. 必要と思われる支援策



Q20 と関連して、広報スキルアップ (11.7%)、オンライン活用 (9.9%) が多くなっています。

## 22. センターに特に力を入れてほしいもの



団体からの情報発信の援助 (20.1%) が多く、団体への情報提供 (15.5%) の期待値も高まっています。

## 個別意見について

当センターに期待する具体的な支援策(33件)、その他自由意見(29件)の貴重なご意見を頂きました。全てをご紹介できませんが、抜粋版を記します。(注)原文ママ

### 23. 当センターに期待する具体的な支援策

#### 企画

- ・平塚市が住みよい環境になるためのざっくばらんなサロン形式の会合の開催を期待します。
- ・市民活動は団体のミッションの専門性を高めて、市民に役立つ活動をすることが必要。だが、全体のまちづくりに関心を持っている人材の連携が具体的にできるミーティングをして実行していければ良いと思う。
- ・以前行っていただいたユースボランティア募集を是非是非お願いしたい。スタッフは60歳以上が多く、保養家族も中高大学生と遊び交流が出来てとても喜んでいました。中高生、大学生に市民活動内容を伝え、関心を持ってもらう機会が欲しい。
- ・スキルアップのための無料講習。例えば、パソコンの使い方やホームページ作成など。
- ・情報提供・情報発信の援助。外国につながる人たちも平塚市民であることを周知してほしい。
- ・イベント等の広報支援。
- ・センターまつりの際、いろいろな団体が参加していますが、簡単な団体紹介文などがあるとまわってみた時、その団体が理解しやすくなる。
- ・世代間のマッチングをして欲しい。
- ・組織強化の研修があれば参加したいです。
- ・様々な団体・企業・行政との交流の場を提供していただきたいです。できれば、対象範囲を絞らずに出来たら有意義ではないかと思えます。
- ・zoom研修は大いに役立っています。
- ・マッチング交流会を年二回開催してほしい。

#### 協働

- ・遠方からのメンバーが多く、交通費を助成してもらえる団体を紹介してほしい。
- ・いつもありがとうございます。コロナ禍で市民活動団体との交流が減ってしまったので、復活させて頂きたいです。
- ・障害者団体に対する理解を深めてほしいと強く思う。
- ・同じテーマの団体との交流ができると一緒に活動できたり会への参加も期待できる。
- ・今までのように、当団体と連携できる企業等があれば紹介していただけると大変有難いです。
- ・行政側の担当者が変わってしまうと信頼関係を再構築していかなくてはならない点がいへんもどかしいので、行政とのパイプ約を担っていただけたら嬉しい。
- ・異業種との協働実現に向けた橋渡しをしていただけるとうれしい。

#### 施設

- ・A3版、A4版等の印刷に使用する用紙をセンターでストックしておき、有償でいいので提供してほしい。
- ・会員数の増加を図りたいので、会員募集ポスターの掲示をお願いしたい。(可能ならば)
- ・C会議室がもう少し広ければ、と思えます。
- ・災害時、ボラセン以外のサブセンターとして機能すること。
- ・会員募集支援。

<b>施設</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ボランティア募集のサポート。</li> <li>・バラの町平塚を広める為、白秋バラの植樹か、写真を展示してほしい。</li> <li>・定期的に「ひらつかの風」等、様々な情報提供をして下さり、関心を持っています。なかなか参加できませんが、役員会でも話し合いの中に入れていきます。ありがとうございます。</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯には貴センターの様な利用しやすい施設がないので、大変お世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。</li> <li>・アルコール依存症は罹患した本人がその事に自ら気付くことがとても難しい病気です。酒の飲み方が異常と気付いた家族や周囲の方が弊会に繋がる支援があると助かります。</li> <li>・活動に際して、いつも丁寧な対応に感謝しています。今後も引き続き、温かいご支援をお願いいたします。</li> <li>・いつでも気負わずに気持ちよく足を運べる雰囲気を楽しんでいます。無論、すでに構築されていると感じています。ありがとうございます。</li> <li>・もっとセンターを利用したいが、団構成メンバーで車利用の方が多く、駐車場の助成がない市民活動センターは使いづらい。提携駐車場等の助成を検討してほしい。</li> <li>・市民の皆様、特に若いファミリー層への本活動の周知啓発をお願いしたいです。</li> </ul>

## 24. その他、自由意見

<b>運営</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体メンバーの高齢化が大きな課題。70～80 歳までのメンバーが元気で活動できるノウハウの支援も必要と思う（若い人材の育成をどうするか）。</li> <li>・会員の20%は平塚在住。ガイドの範囲を平塚まで広めたいか？ 現状、大磯で手一杯の状態であり、今後の課題としたい。</li> </ul>
<b>企画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で地域で活動している団体を講師役として招いて欲しい。次世代へつなぐ地域づくりは大変参考になりました。</li> </ul>
<b>協働</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらつか市民活動センターが発足して20年、当会も20年たち、メンバーは増えているが高齢化している。次世代が市民活動をイキイキとできるまちづくりの支援等を活動センターとともに考えていきたい。</li> <li>・近隣市町の支援施設では、平塚の市民団体が平塚で開く講演会のチラシを持参すると、そのまま掲示したりHPにアップしたりしていただけます。貴センターも、登録していない団体が市外で開く催しでもチラシが持ち込まれたらできるかぎり紹介していただきたいと思います。近隣市町の方から、平塚市民は広域の活動にもっと関心を向けたほうがよいと言われます。市外の関連団体の紹介や協力支援などのコーディネートをお願いします。（会員個人の意見）</li> <li>・健康、貧困、児童虐待等の対策活動を行う市民団体の支援対象者の方で、飲酒が原因の一つと思われる方について支援(情報)連携できる仕組みがあるとよいと思います。</li> <li>・それぞれの市民活動団体の強みを活かして、団体同士の繋がりや活動に活かせるように支援をお願いしたいです。</li> <li>・外国籍市民が更に活用（番組聴取）されるよう支援を望みます。</li> </ul>

## 施設

- ・ 駐車スペースをもっとほしい。前庭の空きがもったいないので、イベントの際にだけ車を移動するなどすれば良いのでは。
- ・ 防災設備のある会議室がほしい。市民が集うための会議室の増設。
- ・ プロジェクターの貸出にはとても助かっています。
- ・ センター設立以前からの団体として活動してきているので、現在の活動が広くなり、多くの市民に利用されるようになったことは喜ばしい。今後がんばってほしい。
- ・ 平塚に、何かあれば相談できる市民活動センターがあることがとても心強いです。
- ・ 印刷機の機能アップ、駐車場の充実。
- ・ 私たちの活動は、平塚在住やその他地域に拠点を持つ方の協力で活動が成り立っておりますが、活動場所は主に大磯町ですが、ひらつか市民活動センターの協力が頂けるのか？
- ・ 小さな団体でも、活動しやすい環境設定を期待します。活動内容にも多様性を更に認めて欲しいです。
- ・ 自分たちの行っている活動が地域住民や市民の皆さんにどれくらい認知されているのか、またどう評価されているのか知りたい。
- ・ 現在は昔に比べ、60歳を過ぎても働いている方が多いのでボランティア会員がなかなか集まらないのではないかと感じています。再任用を終了したらあとは余生を自分のために使いたいと考えているのではないのでしょうか。
- ・ 広報ひらつかに1コーナーをぜひ確保され、各グループの紹介コーナーにさせていただいたらどうでしょうか。皆様立派な活動されていられること感心しております。
- ・ 防災について、地域での取り組みを推進して欲しい。

## その他

- ・ 反省会場の使用、チラシの配布でしか活用していませんが、今後よろしくお願いします。
- ・ いつも資料・企画など、ありがとうございます。
- ・ 缶バッジの作製機械の導入と貸出。
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ 今まで通りのあたたかい雰囲気です。
- ・ 今回、調査が防災に関するものが多かった。平塚MAC会員の高齢化もあり、直接協力できる事が少なく、申し訳なく感じています。
- ・ 現状にほぼ満足です。